

鉄道員（ぼっぽや）育成

現状：地方中小鉄道において、高齢化や都市部企業との賃金競争等により、輸送の維持に必要な人員の確保に支障を生じている事例が見受けられる。また、地域の利用者の実情に応じた機動的な高齢者への対応や地域活性化対応が求められている。

課題：経営体力の弱い地方中小鉄道事業者にとって、約1年の運転士育成費用負担がままならないことがあり、このままでは、地域の足としての鉄道運行の継続が危ぶまれる。また、利用者の高齢化や地域活性化には施設整備などの対応策が求められるが、資力の弱い地方中小鉄道事業者にとっては、人の手でこれらの課題に対処することも望ましいと考えられる。

対応：このため、新たに若年の運転士を育成することで地域の足となる鉄道路線における輸送の維持を図る取組やアテンダント等人の手でサービスの高質化を図る取組に対し、支援を行う。

運転士育成



特に地方中小鉄道において、

- ・就職機会の少ない地方部からの若年人口の流出
- ・経営難から人材育成に掛けるコストがまかなえない

などの理由により、若手運転士の育成がままならず、将来的な運行の継続に困難を生じるおそれがある事例が見受けられる。

このため、地域を支える鉄道の維持・活性化を図る観点から、地域の支援の下、若手運転士の育成を図る。

乗務員等育成



地域に密着した
新規雇用の創出!!!

特に地方中小鉄道沿線で進行している高齢化等の諸課題に対し、鉄道事業者としては様々な対応策が求められるところ、施設整備でこれに対応するには資金が追いつかない事業者も見受けられる。

このような事業者にとっては、高齢者のみならず観光客等にとっての様々なバリアを、施設整備ではなく人の手でクリアすることも一つの解決策と考えられる。

このため、地域の支援の下、アテンダント等の育成を図る。